HOKUSEI@COM

2025
AUGUST
vol. 39

04 OB&OGインタビュー／卒業生は、いま。
メッセージを声に乗せ、ファンの感情を動かしたい。
エスコンフィールド北海道スタジアムDJ
エバンズ・マラカイ さん

05 学生たちの素顔
氷上の夢を追って世界へ。大空を目指して未来へ。
文学部 英文学科3年 清川 瑠花 さん

06 先生たちのその素顔
異文化コミュニケーションでグローバルビジネスに価値を創造する。
文学部 英文学科 専任講師
ベリャコーフ グリゴーリ 先生

07 学生広報委員 企画ページ
キタボシ×HOKUSEI@COM
NORTH STAR CAFÉ Sarahのご紹介

08 HOKUSEI INFORMATION 北星学園大学からのお知らせ
●開学60周年記念ワイン「+sparkle」が完成しました！
まちがいさがしクイズ
北星学園大学オリジナルグッズが当たる！

02-03

特集：北星新時代

2026年4月 国際学部 グローバル・イノベーション学科が始動

学長 中村 和彦 教授
国際学部長（予定） 森越 京子 教授
グローバル・イノベーション学科長（予定） ロバート・トムソン 准教授

2026年4月 国際学部 グローバル・イノベーション学科が始動

北星学園大学は2026年4月、「国際学部グローバル・イノベーション学科」を新設します。
国際社会が多様化・複雑化を極め、すぐ先の未来も予測不能な時代。
答えのない問いに立ち向かい、世界をより良い未来へ導くリーダーを育成する新たな学びについて、
3名の先生に語っていただきました。

グローバル・イノベーション学科長（予定）
ロバート・トムソン 准教授

国際学部長（予定）
森越（もりこし） 京子（きょうこ） 教授

学長
中村（なかむら） 和彦（かずひこ） 教授

大学にも社会にもイノベーションが必要だ

中村：社会情勢が激しく変化する中、大学を取り巻く状況や期待される役割も大きく変わりつつあります。本学は2040年にあるべき大学の姿を目標とするリブランディング計画に基づき、さまざまな改革に取り組んでいます。地域社会との結びつきをいっそう深め、本学が教育目標に掲げる「人間性」「社会性」「国際性」を軸とした新しい学びを実現するために、2026年4月より「国際学部グローバル・イノベーション学科」を新設することとしました。

森越：本学は短大・四大とも開学当初から英文学科を設置しており、道内の他大学に先駆けて国際的な活動を活発に行ってきた歴史があります。英語力を生かして活躍する人材も多数輩出してきましたが、国際学部の設立によって語学だけにとどまらない多様な学びの機会を創出し、国内外のさまざまな分野で活躍できる可能性を広げられるものと期待しています。

トムソン：「グローバルマインドの醸成」を掲げる国際学部は多いのですが、マインドだけでは社会に出ても通用しません。世の中には複数の利害関係が絡み合い、ひとつの学問分野だけでは解決できない厄介な問題がたくさんあります。複雑かつ不確実な課題はマインドだけでは到底解決できないのです。本学の国際学部は理論と実践を両輪とする独自のカリキュラムでグローバルなスキルと実践経験を養い、社会やビジネスの現場で発生する「答えのない問い」にしっかりと向き合える人材を育成したいと考えています。

北星の強みを生かした超領域的カリキュラム

森越：文学部英文学科は語学としての英語学習、英米文学や異文化理解などの研究に重点を置いているのに対し、グローバル・イノベーション学科はビジネスシーンや国際社会で活躍するための実践的なスキルとエクスペリエンス（経験）を重視しています。そのためカリキュラムでは国際社会を多面的に理解する「国際教養科目」、グローバルな経営戦略を学ぶ「国際経営科目」、世界や地域をよりよくするために必要なイノベーション思考を身につける「イノベーション科目」、グローバル＋ローカル＝グローカルな視点を養う「地域研究科目」の比重が大きくなっています。英語学習に関する必修科目は英文学科より少なくなりますが、専門分野を英語で学ぶ授業があり、国際

社会のさまざまなステークホルダーと英語で接するプロジェクト科目も多いため、より実践的な英語力を習得できます。

トムソン：「イノベーション」はグローバル・イノベーション学科における最重要キーワードです。国際系学科が扱う学問分野はとてもファジーで、複数の学問領域にまたがる学際的なカリキュラムになるのが一般的です。しかし先ほども言った通り、それだけでは世の中に無数にある複雑かつ不確実な問題は解決できません。グローバル・イノベーション学科の学びは学際的ではなく「超領域的」です。学問領域はもちろん大学の枠も超えて企業や社会と結びつき、今までにない発想で課題解決と新しい価値創造を実現すること。これこそが「イノベーション」であり、他大学の国際系学科とグローバル・イノベーション学科の大きな違いだと思います。

森越：グローバル・エクスペリエンス（国際的な経験）を必修化しているのもグローバル・イノベーション学科の特色のひとつです。海外留学はもちろん、国内外のグローバル企業でのインターンシップ、国際ボランティアなど、さまざまな国際的活動へのチャレンジを推進します。もともと本学には海外提携校との交換留学や海外企業とのコラボレーション、ニセコの外資系ホテルでのインターンシップなど、グローバル・エクスペリエンスの下地となる実績がたくさんあります。すでに受け入れ先企業や卒業生を介した各業界とのパイプも築かれていますし、今年２月には北海道と札幌市の産学官連携による国際スタートアップカンファレンス「Hokkaido Innovation Week 2025」に教員が参加。学びの機会創出につながる人脈構築にも取り組んでいるところです。

トムソン：グローバルビジネスの現場で実際にイノベーションを起こしている人々と接してみないと、業界の空気やエネルギーはなかなか実感できないもの。専任教員にもロシア出身でアメリカの大手石油会社に勤務してMBAを取得されたベリャコーフ先生、ニュージーランド出身で先住民学や比較文化学に秀でたコッター先生などが名を連ね、グローバルな知的好奇心をかき立ててくれるに違いありません。

変わる北星で社会と自分の未来を創ろう！

中村：グローバル・イノベーション学科の第１期生が社会へ巣立つ2030年は、2040年を見据えた大学リブランディング計画のマイルストーンと考えています。これまでは「北星学園大学＝真面目、落ち着いている」と評価されることが多かったかもしれませんが、グローバル・イノベーション学科はそんなイメージを覆す存在になるかもしれません。そして既存の学部学科にも刺激をもたらし、大学全体にもイノベーションが起こることを期待したいですね。

森越：私自身も本学卒業生ですが、英語教員を経て海外で観光ホスピタリティを学んで視野を広げ、こうして新学部創設にも携わっています。英語を介して活躍の場を広げていけるのはとても刺激的で、大学と自分の未来が楽しみで仕方ありません。グローバル・イノベーション学科で学ぶ学生にもこのワクワクを味わってほしいし、４年後どんな世界へ羽ばたいていくのか、私自身が一番ワクワクしています。

トムソン：グローバル・イノベーション学科を卒業後は、グローバル企業や外資系企業、地域でグローバル展開を目指す企業や地域活性化に携わる公務員、起業家精神に富んだスタートアップや企業経営、NGOやNPOなどの国際協力機関など、さまざまな進路が期待されます。入学時点で英語に自信がなくても心配いりません。「新しい世界にチャレンジしてみたい」という気持ちさえあれば、みなさんをグローバルなステージへ送り出す用意ができています。まずはウェブサイトの学科紹介動画やオープンキャンパスで、イノベーションの可能性を感じてください！

多様な実践的アプローチ

学科の特徴

経済・経営　GLOBAL INNOVATION　人文・国際

Features 01 イノベーションを学ぶ	「イノベーション科目」を設置し、持続可能な社会を構築するために必要なイノベーション思考を身につけます。
Features 02 プロジェクト型の学び	アクティブラーニング型の授業を多数展開。PBL（課題解決型授業）を通して、課題解決に必要な研究力、グローバルな場面での企画実行力を養います。
Features 03 社会と連携した実践教育	多様な企業・地域・海外と連携したインターンシップを用意。実践的な学びの機会を提供し、実社会で通用する力を身につけます。
Features 04 現場で活きる語学力	専門分野の学びと連携し、個々のレベルに応じた実践的な英語教育を展開。さらに、英語以外の外国語も選択必修とし、国際社会で活躍できる語学力を習得します。

イノベーション思考につながる

学びの４ステップ

現状を分析して価値を見出し、あらゆる社会に変革をもたらす提案力や実践力を身につけます。

01 国際社会を知る	文化・制度・地理・経済など多面的な観点から国際社会を理解します
02 価値を見つける	創造力を駆使し、国際社会をよりよくする提案や課題解決策を考えます
03 企画する	国内外の多様な他者と連携し、提案や解決策を協働しながら立案します
04 実行し、経験を積む	失敗するリスクを認めながら計画を実行し、経験を重ねることで確かな実践力を身につけていきます

本学科が養成する人材

実践主義に基づくカリキュラムにより、学べば学ぶほど未来への可能性が拓かれます。

CAREER 01	世界を駆ける──**グローバル・リーダー** グローバル企業、外資系企業、MBA進学（海外・国内）など UNIQLO、Rakuten Group、Accenture、伊藤園など
CAREER 02	地域の活性化を目指す──**グローカル人材** 地域でグローバル展開を目指す企業、国家公務員、地方公務員など 道庁、国土交通省、市の地域創生、地方のDMOなど
CAREER 03	ビジョンをかたちに──**起業家・経営者** 起業、ベンチャー、事業承継、企業内スタートアップなど JTB、Microsoft、Canvaなど
CAREER 04	支援のプロフェッショナル──**国際協力人材** 国際機関、政府系機関、国際協力NGO、NPOなど JICA、JETRO、国連UNHCR協会、UNICEFなど

OB & OG interview 卒業生は、いま。

メッセージを声に乗せ、ファンの感情を動かしたい

大学時代は部活、アルバイトなどさまざまな経験を積み、通訳、モデル、プロスポーツチームのアリーナMCなどを経てスタジアムDJに。エスコンフィールド北海道の熱戦を「声」で盛り上げるエバンズ・マラカイさんに、仕事へのこだわりや学生時代の思い出などを伺いました。

エスコンフィールド北海道スタジアムDJ
エバンズ・マラカイ さん
（北星学園大学附属高等学校出身）
2018年3月
経済学部 経営情報学科卒業
https://malachievans.com/

部活、アルバイト…何にでも挑戦した4年間

大学時代はラグビー部に入り、留学生交流サークルの部長も務め、10職種以上のアルバイトを経験しました。とにかくなんでもやってみたいと考える性格で、さまざまな経験がその後の糧になり、武器になったと思っています。また、社会の人たちとつながって輪を広げることを大きな目標とした4年間で、それが今も生きていますね。

僕はみんなと同じようにスーツを着て就職活動はできないなと思っていましたが、1年と2年時に「職業と人生」という授業があり、先生から「マラカイはそういうタイプじゃないよね」と一般的な就職とは違う“生きる術”を学んだことが、今の仕事につながっていると思います。

就職しない生き方からスタジアムDJの道へ

大学を卒業してアルバイトをしているうちに、北海道庁スポーツ局の通訳の仕事が舞い込みました。次に、2019年ラグビーW杯でフィージー代表に帯同して通訳を務め、ネット配信の恋愛リアリティ番組に参加。上京してモデル活動を行っているうちに「ローカルドリームプロダクション」という「声」専門の事務所に所属し、プロバスケットボールチーム「仙台89ERS」のアリーナMCを3シーズン務めました。

そして2023年4月、家族とエスコンフィールドで食事をしていたら、北海道日本ハムファイターズの関係者から声をかけられたんですね。とんとん拍子に話が進み、同年7月から土日限定のスタジアムDJとして始動し、今は全試合担当しています。

北星学園には何にでも挑戦できる環境がある

野球でコールできる言葉は限られていますが、タメや抑揚、張りといった声の使い方でメッセージを乗せることができます。たとえば、二軍から復活して上がってきた選手を、「おかえり、あなたが必要だよ」という気持ちを込めてコールしたら、いろんな人から「あのコールは響いた、めちゃ感動した」と言われたんですね。この仕事はメッセージを声に乗せ、人の感情を動かすことができる。ファンは何を感じ、何を期待しているのか、そういうことを考えながら思いを声に乗せています。

僕はスタジアムDJのほか、ラジオ番組やヘルスコーチなどもやっていますが、いずれも知識量が求められます。その知識は、大学の授業やバイト、人とのつながりを経て得たもの。北星学園には何にでも挑戦できる環境がある、だから今の自分があるのです。

母校の教壇に立つマラカイさん。「人とのつながりが大きかった4年間」と大学時代の思い出を懐かしそうに語りました。

「エスコンで『日本一になりましたー！』とアナウンスできたら気持ちいいだろうなあ」。目標は当然ファイターズ優勝！

文学部 英文学科３年
清川 瑠花 さん
（苫小牧東高等学校出身）

氷上の夢を追って世界へ。大空を目指して未来へ。

Our students : A closer look
学生たちの素顔

アイスホッケーの聖地・苫小牧で生まれ育った清川さん。2006年トリノ冬季五輪のボブスレー選手だった父の背中を追うように女子アイスホッケー日本代表としてトリノで戦い、銅メダルを獲得しました。学業と競技の両立に全力で挑む姿はまさに氷上のファイターです！

国際大会を通じてプレーもメンタルも成長した

アイスホッケーは「氷上の格闘技」ともいわれ、繊細なパス回しと激しいぶつかり合いを繰り広げるスピーディーな試合運びが最大の魅力です。私は小学４年生から競技を始め、中学に入ると社会人チームに所属し、早く先輩方のように試合で活躍したいと思いながら練習に励んできました。2020年ローザンヌ冬季ユースオリンピック（3on3）で初の国際舞台に立ち、2022年IIHF女子U18アイスホッケー世界選手権Div.IAでは日本が全勝優勝でトップディヴィジョンに昇格した瞬間を経験。そして今年１月にイタリア・トリノで開催されたFISU冬季ワールドユニバーシティゲームズでは銅メダルを獲得することができました。トリノFISUゲームズでは国内での調整期間がないまま現地入り。日の丸を背負うプレッシャーも大きく、毎試合吐き気がするほど緊張しましたが、監督の的確な指揮のもとで一人ひとりが自分の役割を自覚し、チームワークが生まれて結果につながりました。以前は「私が代表なんて」と尻込みするところがあったのですが、今回の経験を通して自分の長所を肯定できるようになり、精神的にも成長できたと感じています。

学業も競技も、今しかできないから全力で挑む

現在は授業が終わると苫小牧に帰って夜までアイスホッケーの練習に参加。翌朝６時からコンビニでアルバイトをした後に大学へ通い、通学時間や空きコマに課題や就活の勉強をしています。常に睡眠不足でギリギリの毎日ですが、学業も競技も今しかできないことだから手を抜きたくないんです。北星学園大学は先生や職員の方々がとても親身で、図書館やジム、教育支援や就職支援など、学生のチャレンジをサポートしてくれる施設や体制も整っているのでとても助かっています。ハイレベルな英語を学べる環境も充実していて、トリノFISUゲームズの際には海外の競技仲間と英語で交流できてすごく楽しかったですね。今後は所属チームの日本一と２年後のFISUゲームズ出場を目標にアイスホッケーに取り組むとともに、幼い頃からの夢だったキャビンアテンダントを目指し、就活にも全力投球したいと思っています。

トリノFISUゲームズで実際に使用された聖火のトーチを手に。トリノ大聖堂のドゥオモに着想を得たデザインが印象的です。

審判が落としたパットを奪い合う「フェイスオフ」はいわばサッカーのキックオフ。試合の流れを左右する重要なプレーです。

Featured Faculty Member

先生たちのその素顔

文学部 英文学科 専任講師
ベリャコーフ グリゴーリ 先生

PROFILE
ロシア・サハリン州出身。大学で言語学と教育学（英語・日本語）を専攻し、それぞれ修士号を取得。米国系大手総合エネルギー企業で働いたのち、高校教員を経て2024年より現職。

異文化コミュニケーションで グローバルビジネスに価値を創造する

■ 国や文化の違いを超えるバリューチェーンとは？

私が生まれ育ったサハリン州はロシア極東、北海道のすぐ北に位置しています。昔から日本と日本文化に興味があり、日本で働くことが夢でしたが、大学卒業後は米国系大手総合エネルギー企業に就職。仕事を通して国際的なビジネスコミュニティにおける文化の違いがビジネス効率や利益に影響を及ぼすことを実感し、異文化コミュニケーションとバリューチェーンという２つのテーマに着目するようになりました。今後は日本と国際ビジネスの連携に関する現状や課題を掘り下げ、さまざまなビジネスシーンに資するバリューチェーンの構築方法を研究していきたいと考えています。

■ 国際的なビジネスマインドとスキルを養ってほしい

欧米では高校からビジネス教育を学ぶことが一般的ですが、日本では大学に入るまでそうした機会が少ないのが現状です。学生たちには私のゼミを通して、幅広いビジネス分野に興味を持ち、データ解析によって課題解決の道を探る「ビジネス・アナリティクス」のスキルを養ってほしいと思っています。そのためにもゼミではイニシアチブを取ることを恐れず、大いに積極的に取り組んでほしいですね。さらに国際企業で働く上で必要なマインドやアクション、海外で必要な生活スキルなども身につけ、国際的なビジネスシーンで活躍する学生が増えてくれればうれしく思います。

北星学園大学は小規模ゆえに先生も学生もお互いをよく知り、時には大きな家族のように感じられるフレンドリーな雰囲気が魅力です。学生が人生で成功するために必要な教育に真剣に取り組んでいるところがとても気に入っています。キャンパスの四季も美しく、絵のように素晴らしいですね。

■ 故郷によく似た北海道の自然と暮らしを満喫中

北海道の気候風土はサハリンに似ていて、故郷を思い出させてくれます。北海道の自然は他に類を見ないほど素晴らしく、大好きなエクストリームスポーツを楽しむのにも申し分ありません。冬はフリーライドスキーやスキーツアー、夏はシーカヤックやハイキング、トレッキングなど、ほぼ毎週末を自然の中で過ごしています。食べ物もおいしくて人々はとても親切で、北海道の暮らしを大いに満喫しています。

シーカヤックの旅が好きです。文明から離れて日の出とともに目覚め、日没とともに眠る日々ほど素晴らしいものはありません。

冬はスキーツアーやフリーライドスキーを楽しんでいます。スキーツアーでは上り用と下り用のスキー２組を背負って山に挑みます。

本学WEBサイトコンテンツ「研究者ストーリー」でベリャコーフ・グリゴーリ先生のインタビュー動画を閲覧できます。
https://entry.hokusei.ac.jp/scholar/beliakov/

学生広報委員 企画ページ
キタボシ×HOKUSEI@COM

今こそ！北星に行こう!!!!

今回は、北星学園大学にあるカフェ、「NORTH STAR CAFÉ Saraf」について紹介します。学生にも留学生にも大人気！実際に働かれている店員さんにインタビューを行い、カフェの実態について迫ります!!

「NORTH STAR CAFÉ Sarah」で働かれている松尾さんに聞いてきました!!

「NORTH STAR CAFÉ Sarah」
松尾（まつお）さん

〇毎日どれくらいの人が来るの？
だいたい50～60人程度です。飲み物やアイスクリームだけを頼む方も多いです。

〇利用者の男女比率は？
女性のほうが多いですが、男性客も多く7：3くらいです。

〇おすすめメニューは？
大学生協食堂にはないパスタとホットサンドです！

〇商品に対しての思いは？
カフェ風のおしゃれな雰囲気に力を入れており、より魅力的なメニュー開発のために、参考になりそうな食材やメニューを実際に他店で調査しています。

〇なぜこの仕事に就いたの？
もともとは購買で働いていて、カフェを創設するときにカフェへ移動になりました。現在は学生のアルバイトさんと一緒に働いています。

〇やりがいを感じる瞬間は？
「ごちそうさま」と元気よく言ってもらえることです！

〇大変なことは？
お昼に短時間で提供しなければならないことです。限られた人数で回すのが大変で、今年度からお昼休みの時間が短縮してしまった影響も大きいです。

〇退勤時間は？
2時にカフェ自体は終わり、2時半にあがることを目指していますが人数も少ないため3時にあがることが多いです。

〇大学生に向けて一言！
できるだけ学生が喜ぶようなメニューを早く提供できるように頑張っています！軽いものだけでもいいので、たくさんの人に来ていただきたいです！

〇高校生に向けて一言！
見学に来てくれた際には学生アルバイトさんに店番をお願いして「バイトできるからぜひ来てほしい」とオープンキャンパスで声をかけています！大学生協食堂とは異なるカジュアルでリラックスできる雰囲気を楽しんでほしいです！

本学生はもちろん一般の方も是非お待ちしています!!

3か月ごとに期間限定のソフトクリームを販売しています！飲み物とソフトクリームはテイクアウトOK！

NORTH STAR CAFÉ Sarah
営業時間／10：00～14：00
LO：13：45（土、日、祝は休み）
TEL.011-891-2313
〒004-8631
札幌市厚別区大谷地西2-3-1センター棟1F

HOKUSEI INFORMATION

北星学園大学からのお知らせ

TOPICS

お待たせしました！ 開学60周年記念ワイン「+sparkle」が完成しました！

北星学園大学開学60周年記念事業として2022年よりスタートしたオリジナルワインプロジェクトが、ついにフィナーレを迎えました。岩見沢市のワイン醸造家、ブルース・ガットラヴ氏に協力を仰ぎ、同年秋に収穫されたブドウ「シャルドネ」を使用したスパークリングワインの醸造に着手。より高品質で豊かな味わいを追求し、2025年春までじっくりと発酵・熟成させました。本学学生も瓶詰めや澱抜き、エチケットのデザインや貼付などの作業に参加しています。そしてようやく、ご寄付いただいた皆さまへの返礼品としてお届けできる運びとなりました。手間と時間を惜しまぬ伝統的な製法から生まれたのびやかな酸と上品なコク、涼やかな色と奥深い味わいをお楽しみください。

■北星学園大学開学60周年記念開設サイト
https://www.hokusei.ac.jp/60th_anniversary/

■本学教育へのご理解とご寄付をお願いいたします
https://www.hokusei.ac.jp/donation/

北星学園大学オリジナルグッズが当たる！ まちがいさがしクイズ

北星学園大学の構内を紹介する2枚の写真を見比べて、右の写真の5個の間違いを探してください。Webやハガキで応募すると、抽選で10名様に北星学園大学オリジナルグッズが当たるチャンス！

［今号のまちがいさがしスポット］
スカイブルーラウンジ

C館の最上階である7階に位置する「スカイブルーラウンジ」は、学生が空き時間や昼休みに自由に利用できる憩いのスペースです。全面ガラス張りの窓からは札幌市の街並みを一望でき、開放感あふれる空間が広がっています。ラウンジ内には飲み物や軽食の自動販売機も設置されており、勉強の合間や友人との語らいの場としても最適です。

★応募要項
下記応募フォームまたはハガキにて以下の内容をご記入の上、下記送付先までご応募ください。
①問題の答え（まちがい5個）　②郵便番号　③住所　④氏名
⑤電話番号　⑥HOKUSEI@COMのご意見・感想
送付先：〒004-8631　札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
北星学園大学　HOKUSEI@COM「まちがいさがし」係
■応募締切日：2025年10月30日（木）必着
■応募フォーム：https://www.hokusei.ac.jp/hokuseicom_quiz/

★正解発表
『HOKUSEI@COM』40号（2026年1月発行予定）に掲載いたします。
※ご応募は1号につき、おひとり様1回までとさせていただきます。
※正解者の中から厳選なる抽選の上、当選者を決定いたします。当選の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
※お送りいただいた情報は賞品の発送のみを目的に使用させていただきます。
※ご住所・転居先の不明等で賞品をお届けすることができない場合は、当選を無効といたします。

前号の正解

Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

発行／広報委員会
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号　TEL 011-891-2731（代表）
URL https://www.hokusei.ac.jp　E-mail koho@hokusei.ac.jp

VEGETABLE OIL INK